

【研修資料⑫】再検討や具体的な説明が必要と思われる記載例

1. 総合的援助方針・援助目標・サービス内容

(1) 身体・機能・健康面

- ① 機能の維持（継続）をはかる
- ② 残存機能の低下を防止する
- ③ 残存機能を活用する
- ④ ADLの低下を防止する
- ⑤ ADLの向上をはかる
- ⑥ 健康管理に注意する
- ⑦ 健康状態を改善する
- ⑧ 栄養状態を改善する
- ⑨ QOLの向上をはかる
- ⑩ 褥瘡を予防（改善）する
- ⑪ 定期的な状態観察を行なう

(2) 心理・社会面

- ① 快適な生活ができるように援助する
- ② 安定した生活をはかる
- ③ 楽しく過ごせるよう援助する
- ④ 生活に生きがいを持ってもらう
- ⑤ 十分な信頼関係をつくる
- ⑥ 不安感をなくす
- ⑦ 孤独感を解消する
- ⑧ 気分転換をはかる
- ⑨ 精神的安定をはかる
- ⑩ 生活リズムをつくる
- ⑪ 他者との交流をはかる
- ⑫ 十分な声かけや見守りを行なう
- ⑬ コミュニケーションをはかる
- ⑭ 清潔面の保持（保清）ができるようにする

(3) 環境・家族面

- ① 居宅での生活を維持できるようにする
- ② 家族の介護負担を軽減する
- ③ 安全な（移動など）をはかる
- ④ 転倒を防止する

(4) その他

- ① 本人や家族の意向を尊重する
- ② 適切な援助を行なう
- ③ 自立した生活をはかる
- ④ 生活全般の介助を行なう
- ⑤ 離床をはかる
- ⑥ ○○○サービス
- ⑦ ○○○介助

2. 課題（ニーズ）

- ① ○○○ができない
- ② ○○○が困難である
- ③ ○○○の低下がある
- ④ ○○○の症状がある
- ⑤ ○○○の問題行動がある

【研修資料⑬】 介護サービス計画の検討項目一覧表

検討課題項目	
本人や家族等の希望	1 在宅生活継続の希望
	2 在宅生活復帰の希望
	3 施設への入所希望
	4 病院等への入院希望
	5 介護サービスの種類に関する希望
	6 提供機関・担当者に関する希望
	7 介護内容に関する希望
	8 介護サービス負担額に関する希望
	9 介護サービスの日時に関する希望
	10 その他の希望
利用サービス	11 介護サービスの種類
	12 介護サービスの頻度
	13 介護サービスの日程
	14 提供機関と担当者
	15 介護サービスの負担額
	16 介護サービスの利用意向
家族等の介護	17 家族等の介護時間
	18 家族等の健康状態
	19 家族等の就業状況
	20 家族等の介護負担感
	21 家族等の介護意欲
	22 家族等の介護知識と技術
	23 家族との連絡調整・指導
	24 虐待の可能性
生活環境	25 住宅の構造等の環境
	26 生活の利便性
	27 段差や移動時の安全性
	28 住宅改修の必要性和可能性
	29 日照と風通し
	30 住居の快適さ
	31 寝室の環境
	32 トイレの環境
	33 浴室の環境
	34 玄関の環境
	35 居室の清潔さと快適さ
	36 車輛の進入

検討課題項目	
日常生活・人間関係	37 生活習慣や性格
	38 嗜好品（飲酒や喫煙等）
	39 生活意欲
	40 趣味・関心・興味
	41 活動への参加意欲
	42 外出、車輛等の交通機関の利用
	43 来客・近隣との関係
	44 友人・知人等との交流
	45 安否確認の必要性
	46 居室の掃除
	47 身の周りの整理整頓
	48 ごみ出し
	49 洗濯
	50 買物
機能障害とリハビリ等	51 郵便物の確認と発送
	52 冷暖房の調整
	53 その他の家電製品等の操作
	54 金銭の管理
	55 麻痺
	56 関節可動域制限
	57 機能・能力障害
	58 リハビリの必要性和改善の可能性
	59 リハビリへの参加意欲
	60 在宅生活継続の可能性
疾病・医学的管理	61 在宅生活復帰の可能性
	62 施設入所の可能性
	63 受診の場所（医療機関）
	64 診断名
	65 症状と経過・治療状況
	66 病歴・既往歴
	67 医学的管理・指示の内容
	68 通院の回数と付き添い
	69 診察・処置時の姿勢保持

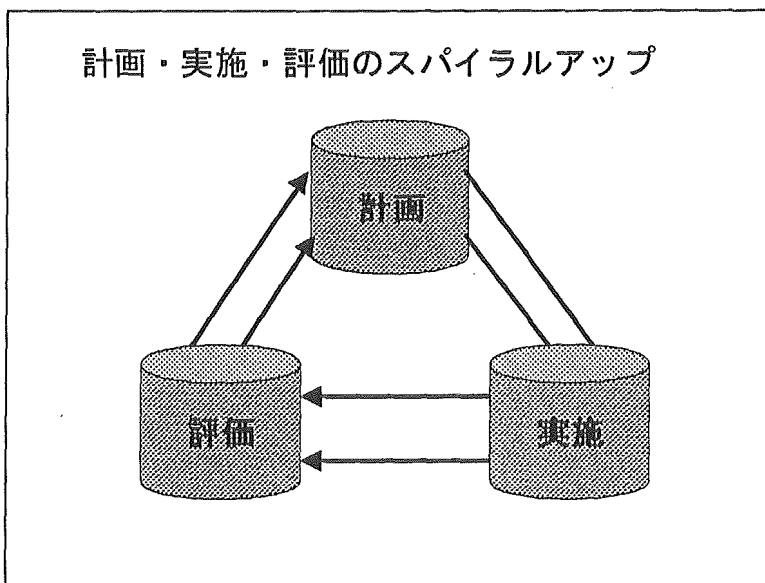
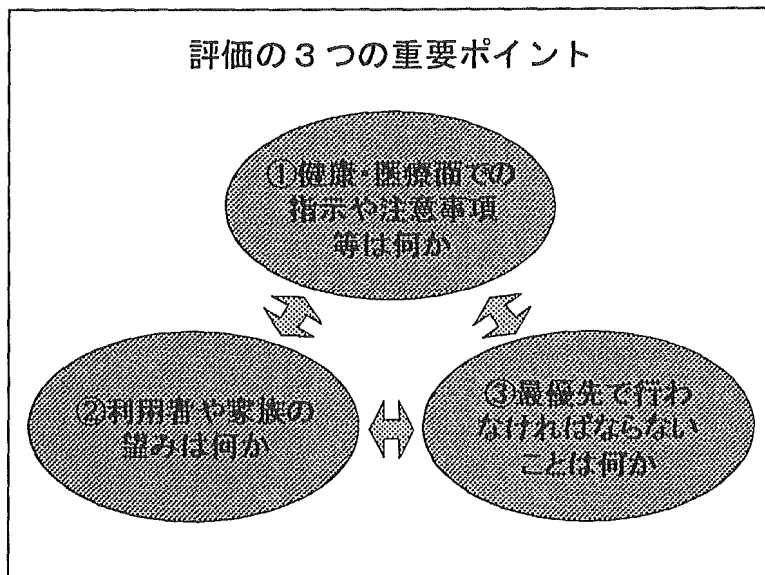
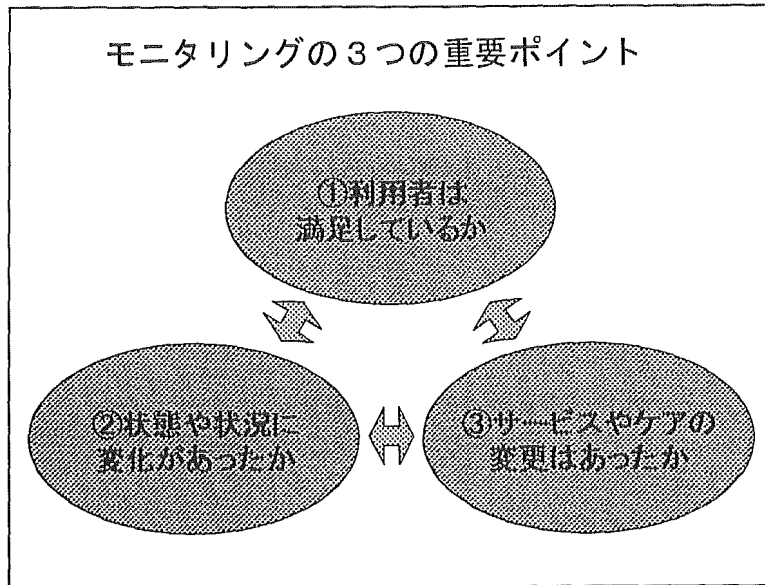
検討課題項目		
自覚症状等	70	体温
	71	血圧
	72	脈拍
	73	不整脈
	74	呼吸
	75	睡眠
	76	動悸
	77	痛み
	78	浮腫
	79	出血
	80	めまい
	81	下痢
	82	嘔吐
	83	喀痰
	84	手足のしびれ
	85	疲労感
	86	意識障害
87	その他の症状	
薬剤	88	薬剤の種類
	89	内服等の介助
	90	薬剤のアレルギー
	91	薬剤の副作用の可能性
	92	薬剤使用の管理と指導の必要性
特別な医療・処置	93	じょくそう等の処置と予防
	94	その他の皮膚疾患の処置と予防
	95	点滴の管理
	96	中心静脈栄養
	97	透析
	98	ストーマの処置
	99	酸素療法
	100	レスピレーター
	101	気管切開の処置
	102	疼痛の看護
	103	経管栄養
	104	モニター測定
	105	カテーテル
	106	その他の処置等

検討課題項目			
認知・コミュニケーション	107	コミュニケーションの方法と福祉用具	
	108	視力	
	109	聴力	
	110	会話	
	111	電話の利用	
	112	理解力	
	113	意思伝達	
	114	記憶力	
	115	季節、場所、人物、時間等の認知	
	問題行動等	116	周囲への関心
		117	被害的
		118	作話
		119	幻視・幻聴
		120	感情不安定
		121	昼夜逆転
122		暴言・暴行	
123		同じ話・不快音	
124		大声を出す	
125		介護への抵抗	
126		徘徊	
127		落ち着きなし	
128		1人で戻れない	
129		目が離せない	
130		収集癖	
131		火の不始末	
132		物や衣類を壊す	
133		不潔行為	
134		異食行動	
135		迷惑な性的行為	
136		迷惑行為	
137		せん妄の兆候	
138		うつ状態等の兆候	
139		不安	

検討課題項目	
起居・移乗	140 寝返り
	141 起き上がり
	142 座位保持
	143 立ち上がり
	144 立位保持
	145 移乗
	146 起居・移乗関連の福祉用具
移動	147 移動方法
	148 屋内移動
	149 屋外移動
	150 転倒の危険性
	151 移動関連の福祉用具
更衣	152 上衣の着脱
	153 ズボン等の着脱
	154 ボタンのかけはずし
	155 靴や靴下の着脱
	156 更衣関連の福祉用具
洗面等	157 洗面・口腔清潔の場所と方法
	158 洗面時の姿勢保持
	159 洗面・口腔清潔関連の福祉用具
食事・水分等	160 自歯、歯肉の状態
	161 義歯の状態
	162 咀嚼
	163 嚥下
	164 食事摂取動作
	165 食事時の姿勢保持
	166 食事の場所
	167 食材の購入・調達
	168 調理
	169 食事の種類（主食・副食）
	170 食事療法や食事の制限（禁忌食品）
	171 食事摂取量と回数
	172 水分摂取量と回数
	173 食事の準備・片付（配膳・下膳等）
	174 栄養不良、脱水の危険性
	175 食欲不振、拒食、過食
	176 体重の変化
177 食事関連の福祉用具	

検討課題項目	
排泄	178 尿意
	179 便意
	180 尿失禁
	181 便失禁
	182 排泄の場所
	183 排泄の方法
	184 排泄時の姿勢保持
	185 排尿後の後始末
	186 排便後の後始末
	187 頻尿や排尿困難
入浴	188 便秘
	189 排泄関連福祉用具
	190 入浴の種類（方法）
	191 入浴回数、入浴の意思（好き、嫌い）
	192 洗身
	193 洗髪
	194 浴槽の出入り
	195 入浴時の姿勢保持
196 入浴関連の福祉用具	
清潔・整容	197 清拭の必要性
	198 部分浴等の必要性
	199 散髪等の場所と方法
	200 整髪
	201 化粧、髭剃り
	202 鼻毛切り、耳掃除、爪切り
	203 清潔・整容関連の福祉用具

【研修資料⑭】 モニタリングと評価の重要ポイント

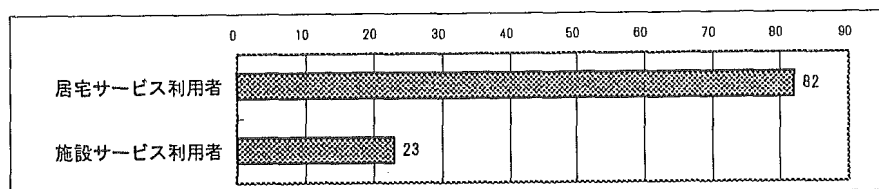


【研修資料⑮】 事前提出資料の集計結果

1. 認定調査票（概況調査）の状況

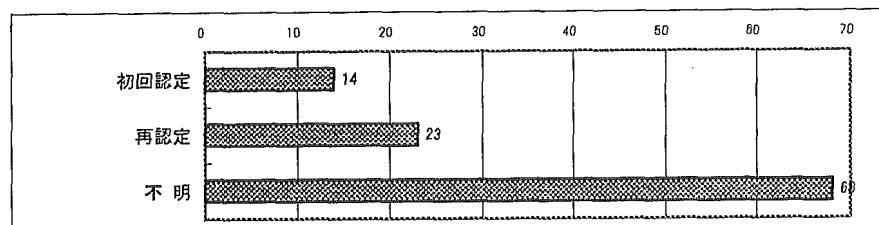
① 居宅・施設サービス利用者の区分の状況

項目		人数
区分	居宅サービス利用者	82
	施設サービス利用者	23
	(合計)	105



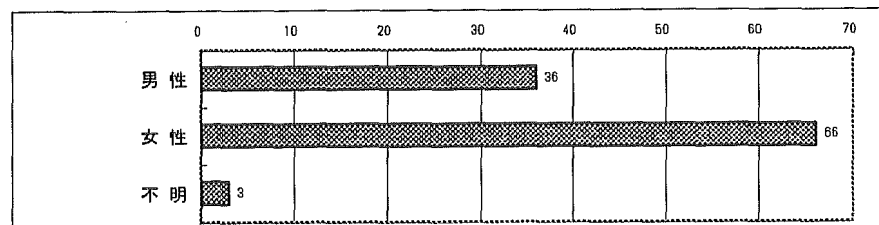
② 過去の認定の状況

項目		人数
過去の認定	初回認定	14
	再認定	23
	不明	68
	(合計)	105



③ 性別の状況

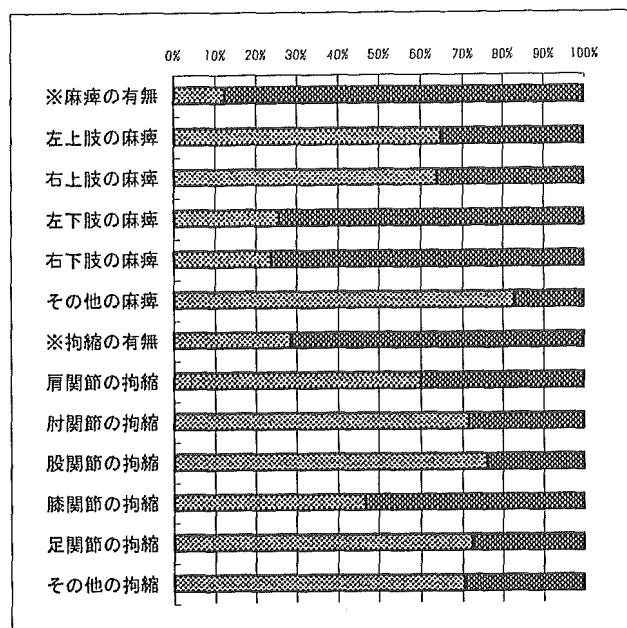
項目		人数
性別	男性	36
	女性	66
	不明	3
	(合計)	105



2. 認定調査票（基本調査）の状況

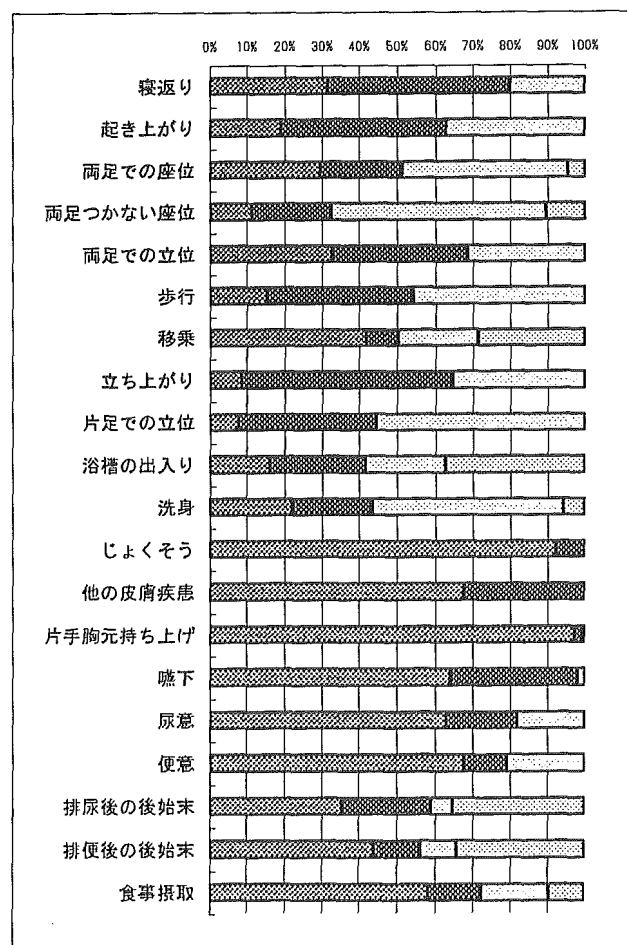
①麻痺・拘縮関連項目の状況

項目		無	有	計
麻痺	※麻痺の有無	13	92	105
	左上肢の麻痺	68	37	105
	右上肢の麻痺	67	38	105
	左下肢の麻痺	27	78	105
	右下肢の麻痺	25	80	105
	その他の麻痺	87	18	105
拘縮	※拘縮の有無	30	75	105
	肩関節の拘縮	63	42	105
	肘関節の拘縮	75	30	105
	股関節の拘縮	80	25	105
	膝関節の拘縮	49	56	105
	足関節の拘縮	76	29	105
	その他の拘縮	74	31	105



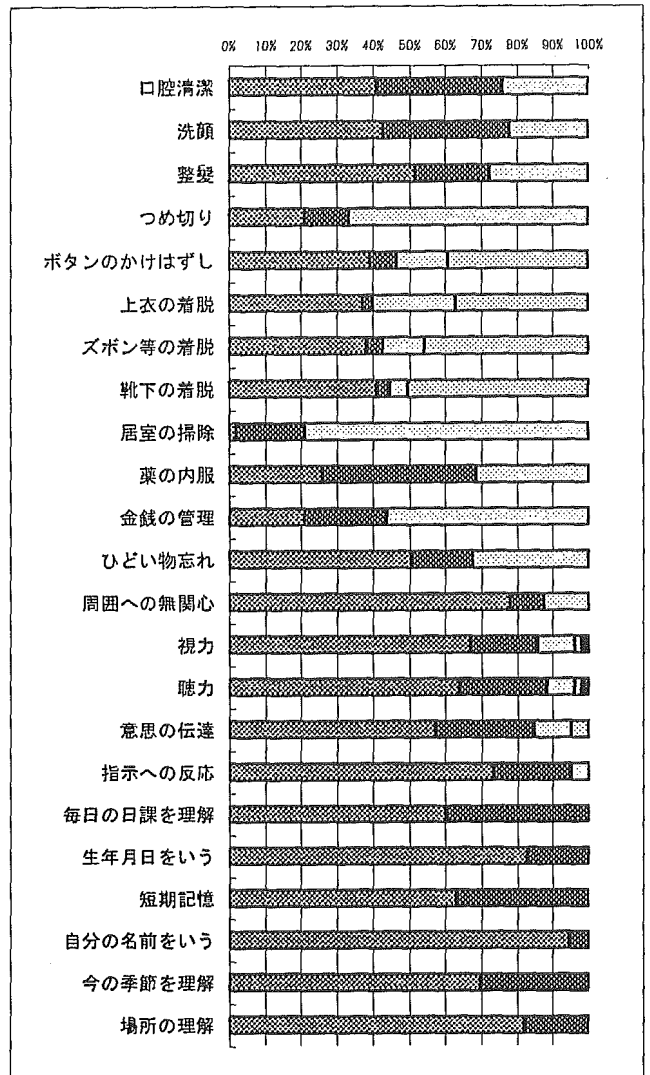
②移動・複雑動作・特別介護等関連項目の状況

項目		1	2	3	4	計
移動	寝返り	33	51	21		105
	起き上がり	20	46	39		105
	両足での座位	31	23	46	5	105
	両足つかない座位	12	22	60	11	105
	両足での立位	34	38	33		105
	歩行	16	41	48		105
	移乗	44	9	22	30	105
複雑動作	立ち上がり	9	59	37		105
	片足での立位	8	39	58		105
	浴槽の出入り	17	27	22	39	105
	洗身	23	23	53	6	105
特別な介護	じょくそう	97	8			105
	他の皮膚疾患	71	34			105
	片手胸元持ち上げ	102	2	1		105
	嚥下	67	36	2		105
	尿意	66	20	19		105
	便意	71	12	22		105
	排尿後の後始末	37	25	6	37	105
	排便後の後始末	46	13	10	36	105
食事摂取	61	15	19	10	105	



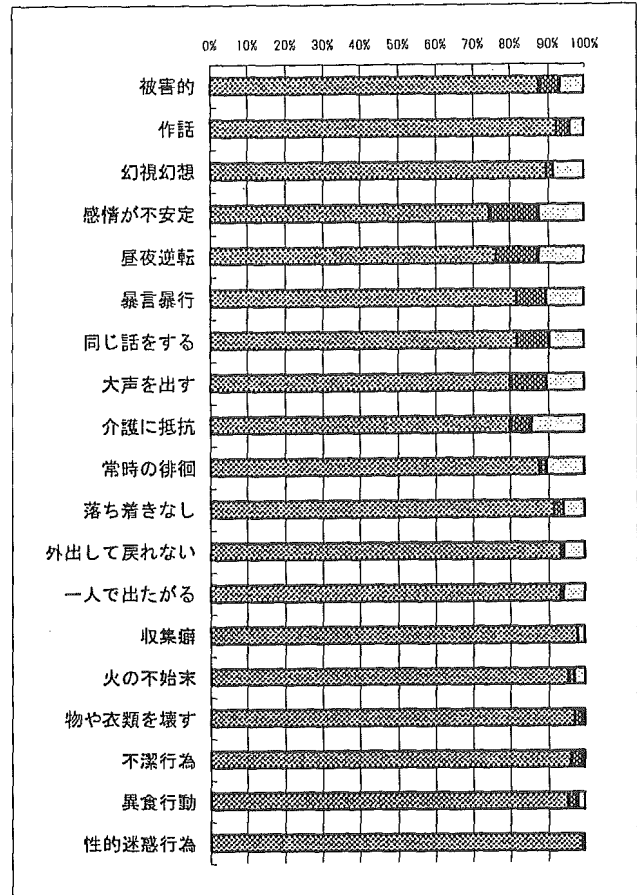
③身の回りの世話・コミュニケーション等関連項目の状況

項目		1	2	3	4	5	計
身の回りの世話	口腔清潔	43	37	25			105
	洗顔	45	37	23			105
	整髪	54	22	29			105
	つめ切り	22	13	70			105
	ボタンのかけはずし	41	8	15	41		105
	上衣の着脱	39	3	24	39		105
	ズボン等の着脱	40	5	12	48		105
	靴下の着脱	43	4	5	53		105
	居室の掃除	2	20	83			105
	薬の内服	27	45	33			105
	金銭の管理	22	24	59			105
	ひどい物忘れ	53	18	34			105
	周囲への無関心	82	10	13			105
	コミュニケーション	視力	70	20	11	2	2
聴力		67	26	8	2	2	105
意思の伝達		60	29	11	5		105
指示への反応		77	23	5			105
毎日の日課を理解		63	42				105
生年月日をいう		87	18				105
短期記憶		66	39				105
自分の名前をいう		99	6				105
今の季節を理解		73	32				105
場所の理解		86	19				105



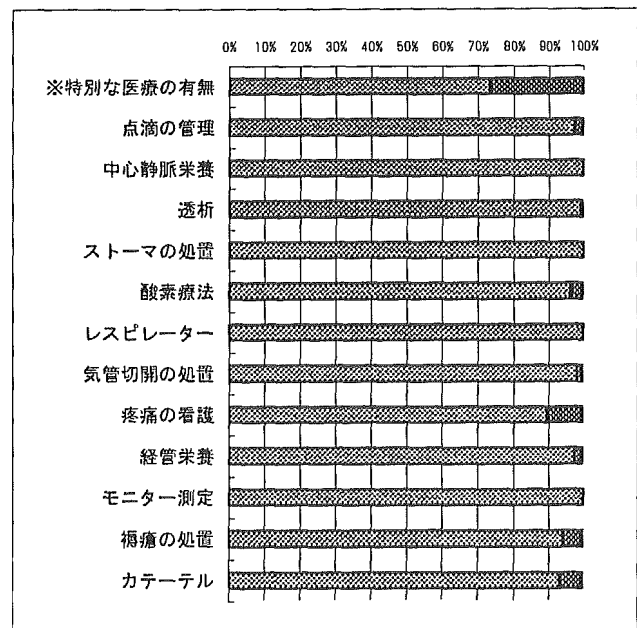
④問題行動関連項目の状況

項目		1	2	3	計
問題行動	被害的	92	6	7	105
	作話	97	4	4	105
	幻視幻想	94	2	9	105
	感情が不安定	78	14	13	105
	昼夜逆転	80	12	13	105
	暴言暴行	86	8	11	105
	同じ話をする	86	9	10	105
	大声を出す	84	10	11	105
	介護に抵抗	84	6	15	105
	常時の徘徊	92	2	11	105
	落ち着きなし	96	3	6	105
	外出して戻れない	98	1	6	105
	一人で出たがる	98	1	6	105
	収集癖	103	0	2	105
	火の不始末	100	2	3	105
	物や衣類を壊す	102	2	1	105
	不潔行為	101	3	1	105
	異食行動	100	3	2	105
	性的迷惑行為	104	1	0	105



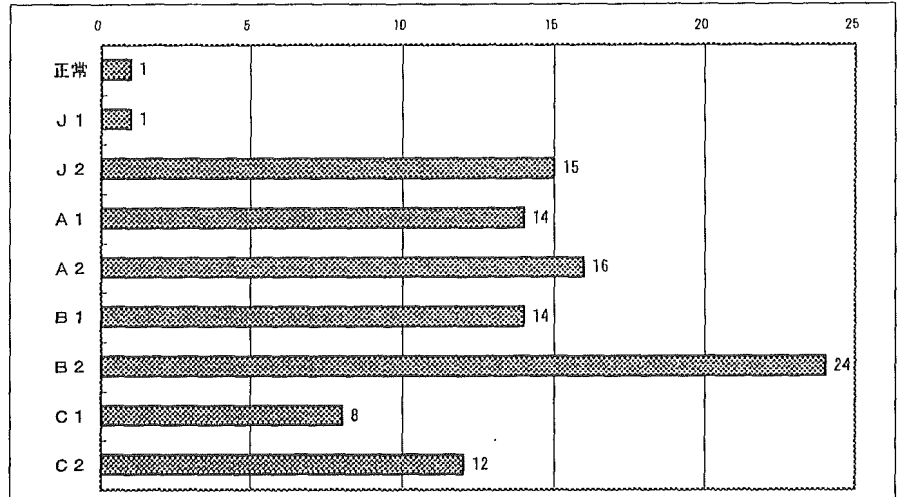
⑤特別な医療の状況

項目		無	有	計
特別な医療	※特別な医療の有無	77	28	105
	点滴の管理	102	3	105
	中心静脈栄養	105	0	105
	透析	104	1	105
	ストーマの処置	104	0	104
	酸素療法	101	4	105
	レスピレーター	105	0	105
	気管切開の処置	103	2	105
	疼痛の看護	94	11	105
	経管栄養	102	3	105
	モニター測定	105	0	105
	褥瘡の処置	99	6	105
	カテーテル	98	7	105



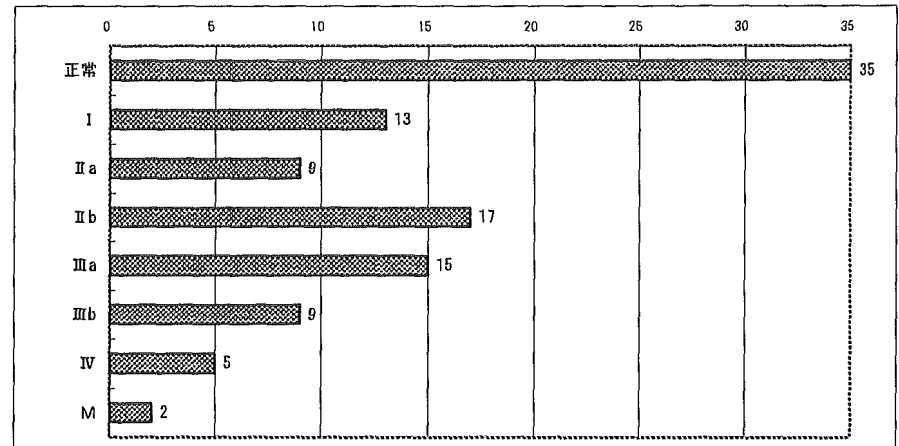
⑥寝たきり度の状況

項目		人数
寝たきり度	正常	1
	J 1	1
	J 2	15
	A 1	14
	A 2	16
	B 1	14
	B 2	24
	C 1	8
	C 2	12
	(合計)	105



⑦痴呆度の状況

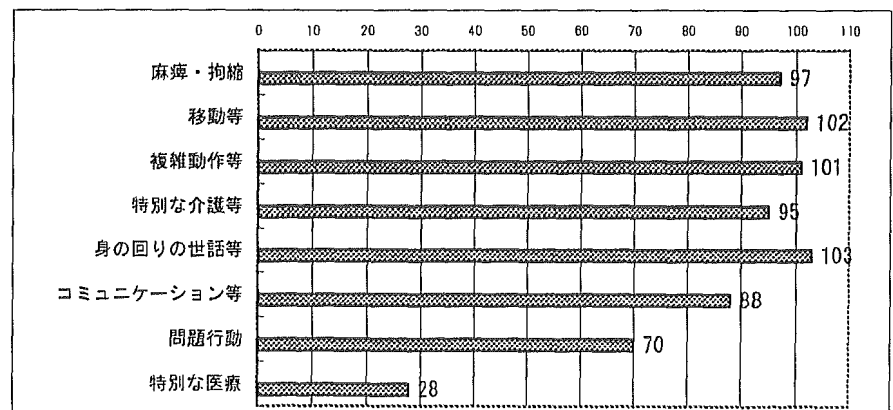
項目		人数
痴呆度	正常	35
	I	13
	II a	9
	II b	17
	III a	15
	III b	9
	IV	5
	M	2
	(合計)	105



3. 認定調査票（特記事項）の状況

①関連項目ごとの特記事項記載の有無の状況

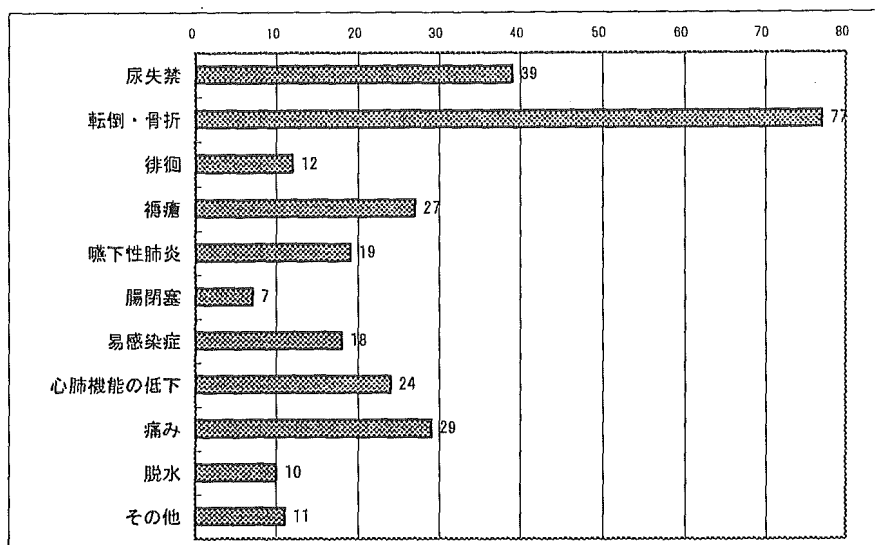
項目	有
麻痺・拘縮	97
移動等	102
複雑動作等	101
特別な介護等	95
身の回りの世話等	103
コミュニケーション等	88
問題行動	70
特別な医療	28



4. 主治医意見書の状況

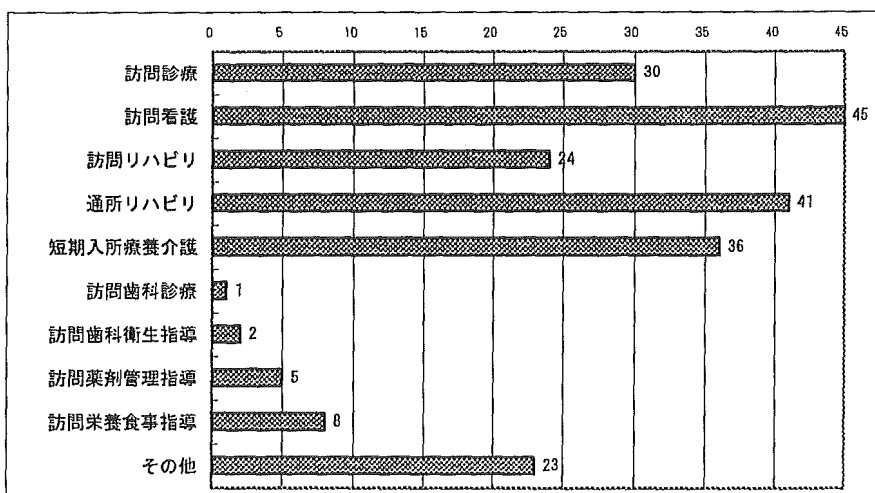
①介護に関する意見（発生の可能性が高い病態）の状況

項目	有
尿失禁	39
転倒・骨折	77
徘徊	12
褥瘡	27
嚥下性肺炎	19
腸閉塞	7
易感染症	18
心肺機能の低下	24
痛み	29
脱水	10
その他	11



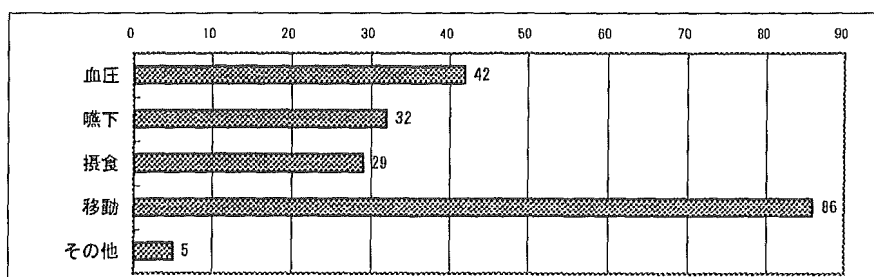
②介護に関する意見（医学的管理の必要性）の状況

項目	有
訪問診療	30
訪問看護	45
訪問リハビリ	24
通所リハビリ	41
短期入所療養介護	36
訪問歯科診療	1
訪問歯科衛生指導	2
訪問薬剤管理指導	5
訪問栄養食事指導	8
その他	23



③介護に関する意見（医学的観点からの留意事項）の状況

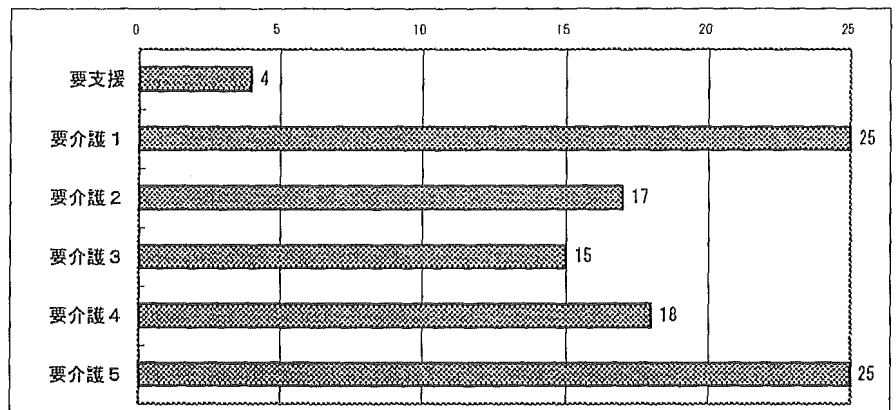
項目	有
血圧	42
嚥下	32
摂食	29
移動	86
その他	5



5. 要介護状態区分とサービス利用票別表（費用）等の状況

① 要介護状態区分の状況

項目	人数
要支援	4
要介護 1	25
要介護 2	17
要介護 3	15
要介護 4	18
要介護 5	25
不明	1
(合計)	105



② サービスコードごとの1回当たりの単位数の最大と最小の状況（加算は除く）

項目	最大	最小	差異
訪問介護	1962	153	1809
訪問入浴介護	1250	1250	0
訪問看護	1198	343	855
訪問リハビリ	550	550	0
通所介護	1232	473	759
通所リハビリ	1063	324	739
福祉用具貸与	2500	50	2450
短期入所生活介護	1132	914	218
短期入所療養介護	1238	1076	162

③ サービスコードごとの回数・日数の最大と最小の状況（加算は除く）

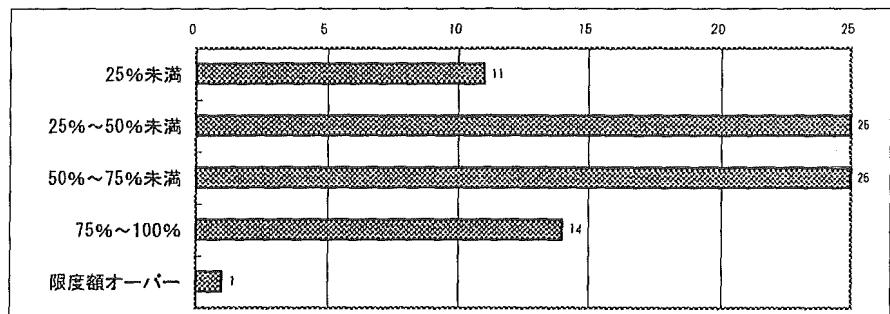
項目	最大	最小	差異
訪問介護	62	1	61
訪問入浴介護	4	2	2
訪問看護	14	1	13
訪問リハビリ	5	3	2
通所介護	14	1	13
通所リハビリ	16	2	14
短期入所生活介護	13	2	11
短期入所療養介護	11	3	8

④サービスコードごとの合計単位数の最大と最小の状況（加算は除く）

項目	最大	最小	差異
訪問介護	31217	153	31064
訪問入浴介護	5000	2500	2500
訪問看護	11620	747	10873
訪問リハビリ	2750	1650	1100
通所介護	16016	473	15543
通所リハビリ	16656	1296	15360
短期入所生活介護	15680	2062	13618
短期入所療養介護	13618	3264	10354

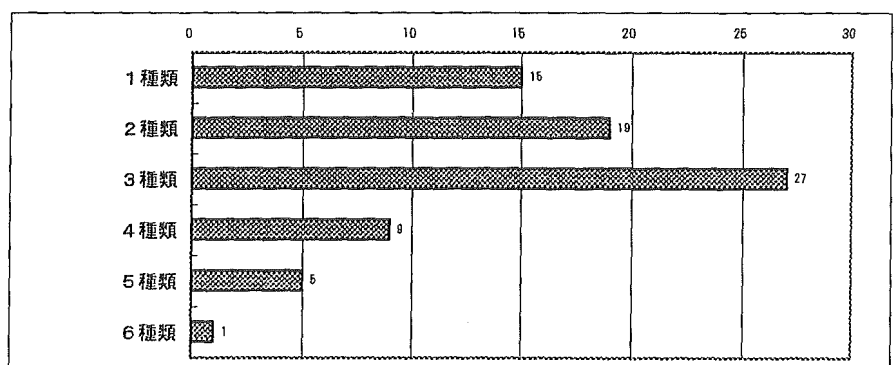
⑤訪問通所区分支給限度基準額とサービス単位数の割合の状況（加算も含む）

項目	人数
25%未満	11
25%～50%未満	25
50%～75%未満	25
75%～100%	14
限度額オーバー	1
(合計)	76



⑥利用者別のサービス種類数の状況（加算も含む）

項目	人数
1種類	15
2種類	19
3種類	27
4種類	9
5種類	5
6種類	1
(合計)	76

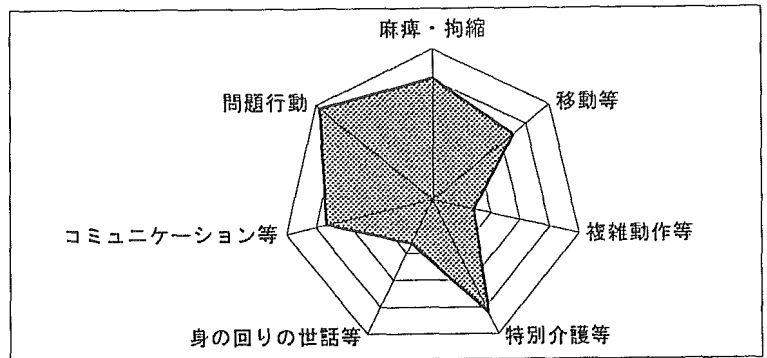


【研修資料⑬】 中間評価項目と必要な介護内容の推定シート

利用者名		調査者名		調査日	
------	--	------	--	-----	--

1. 中間評価項目 (点数)

群	評価項目	点数
1群	麻痺・拘縮	80.7
2群	移動等	69.1
3群	複雑動作等	28.4
4群	特別介護等	84.4
5群	身の回りの世話等	32.1
6群	コミュニケーション等	72.6
7群	問題行動	96.7



2. 必要な介護内容の推定

大	中項目	小項目
① 直 接 生 活 介 助	○ 整容	洗面の見守り
		洗面一部介助
		◎ 洗面全介助
		◎ 口腔清潔介助
		◎ 部分清拭
		全身清拭
		○ 手指浴、足浴
		洗髪一部介助
		○ 洗髪全介助
		◎ 整髪
		○ 爪切り
		○ 顔の手入れ
		耳掃除
		◎ 更衣の見守り
		◎ 更衣一部介助
	◎ 更衣全介助	
	◎ 排泄	◎ トイレ等への移乗
		◎ 排泄の見守り
		◎ 排泄介助
		○ 排尿後の後始末
		○ 排便後の後始末
		○ おむつ交換
	食事摂取	◎ 食事の見守り
		○ 食事摂食介助
		○ 水分等摂取の見守り
		○ 水分摂取介助
	◎ 入浴	浴槽出入り介助
		○ 入浴の見守り
		◎ 洗身一部介助
		◎ 洗身全介助
○ 移動	○ 体位変換一部介助	
	○ 体位変換全介助	
	除圧用具の使用	
	◎ 身体を起こす	
	◎ 車いす等への移乗	
	○ 歩行の見守り	
	○ 歩行介助	
	○ 車いす移動の見守り	
	◎ 車いす移動介助	
	ストレッチャー移動	

大項目	小項目	
○ ②間接生活介助	○ 食事の調理	
	◎ 食事の準備等	
	◎ 水分の準備等	
	○ 尿収器等の後始末	
	○ ポータブルトイレの後始末	
	○ シーツ交換等	
	布団干し	
	◎ 掃除やゴミ捨て	
	○ 洗濯	
	買い物	
	○ 家族との連絡調整等	
	散歩の介助	
	○ レク活動援助	
	○ ③機能訓練関連行為	○ 関節可動域訓練
		寝返り訓練
○ 起上り訓練		
○ 座位訓練		
立上り訓練		
○ 移乗訓練		
○ 歩行訓練		
○ ④問題行動関連介助	日常生活動作訓練	
	徘徊への対応	
	不潔行為への対応	
	暴言・暴力行為への対応 他の問題行動への対応	
◎ ⑤医療関連行為	◎ 服薬介助	
	◎ バイタルサインの確認 受診等の付き添い	
⑥特別な医療	点滴の管理	
	中心静脈栄養	
	透析	
	ストーマの処置	
	酸素療法	
	レスピレーター	
	気管切開の処置	
	疼痛の看護	
	経管栄養	
	モニター測定	
	じょくそうの処置	
カテーテル		

【研修資料⑱】 居宅サービス計画書の評価シート

利用者名		男・女		年 月 日 歳	住所	
計画作成者		作成日	年 月 日	評価者		評価日 年 月 日
認定情報等	申請区分	今回の結果	一次判定	基準時間	分	前回
	今回の期間	年 月 日～年 月 日：月間		前回	年 月 日～年 月 日：月間	
	順	中間評価項目の群	点数	寝たきり度	痴呆度	前回の短期入所利用日数
	5	第1群（麻痺拘縮）	点			
	4	第2群（移動）	点			
	3	第3群（複雑動作）	点			
	5	第4群（特別介護）	点			
	1	第5群（身の回り）	点			
	2	第6群（意思疎通）	点			
	5	第7群（問題行動）	点			
計画書①	特別な医療や指示・管理等					
	その他の特記事項					
	優先度の高いケア					
計画書②	最優先の利用者意向					
	認定審査会の意見等					
	最優先の援助方針					
	最優先の課題					
	最優先の長期目標					
	最優先の短期目標					
利用票	最優先のサービス内容					
	最優先のサービス種別					
	保険対象外のサービス					
要検討・変更が必要と思われる内容等	最多のサービス内容と種別			訪問・通所・短期・他	福祉系・医療系	
	最長時間の内容と種別			訪問・通所・短期・他	福祉系・医療系	
	最高額のサービス内容と種別			訪問・通所・短期・他	福祉系・医療系	
	利用者の状態や環境の変化					
	総合的な援助の方針					
	解決すべき課題（ニーズ）					
	援助目標（長期・短期）					
	解決や目標達成の可能性					
	解決や目標達成の評価基準					
サービスの内容と種別						
サービスの代替の可能性						
サービス提供時間帯と曜日						
サービス提供時間数と頻度						
その他全般に関して						

※「最も長時間」の場合は「短期入所」は除く。また「最も高額」とは、最も高額な単価（単位数）ではなく費用総額のこと。

【研修資料⑱】 研修会企画シート①（全体の概要等）

研修会の概要	研修会名											
	開催目的											
	開催日時	平成	年	月	日	()	:	~	月	日	()	:
	開催場所											
	講師											
	参加者	人数		所属・職種等								

研修会で使用する配布資料	資料のタイトル	資料の内容・備考	事前課題	当日配布	頁数	部数	担当者	

研修会場の座席の配置・設営等	机・椅子等		数量	記号
	講師	机		■
		椅子		●
	参加者	机		□
		椅子		○
	作業用机			■
	視聴覚機材使用の有無			
			ホワイトボード	
			OHP	
			液晶ビジョン	
		ビデオ		
		他 ()		

研修会企画シート②（プログラム・時間割）

< 日目 > 平成 年 月 日 ()

時間	分	区分	研修内容	研修のポイント及び留意事項	担当者
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
: ~					
参加者の理解や作業に差がしやすい研修内容			対応する工夫・手順・留意点等		

※「区分」欄には、講義、説明、演習、討議、休憩等の区分を記入する。

研修会企画シート④（研修会企画のチェック項目等）

研修会企画の検討項目		チェック内容及び留意事項
開催日時と場所	期日と時間数	研修内容に対して、研修時間数は十分か。
	場所と会場	会場のスペースは適切か。
講師	人数等	人数は適切か。講師間の意見は統一しているか。
参加者	人数とレベル	人数は適切か。所属や職種、能力の格差があるか。
研修の目的	達成目標	研修の期待する成果は何か。研修レベルはどの段階か。
使用する資料	事前課題資料	事前課題は必要か。何を期待するのか。評価・分析作業を行なうか。
	当日配布資料	当日に参加者が資料を理解・活用できるか。
研修プログラム	内容	研修のポイント、流れが適切か。
	時間配分	参加者全員が理解できる時間配分か。
	研修の進行	参加者間で演習等の進行に差が生じた場合の対応方法は十分か。
	担当者	適切な担当の割り当てか。
	講義・説明	講義や説明は理解しやすいか。ポイントが整理できているか。
	演習	演習自体（作業）が理解できるか。演習による学習課題は何か。
	使用資料	当日配布する順番やタイミングは適切か。回収する資料はあるか。
	視聴覚機材	効果が期待できる機材か。最後列でも見えるか。
	座席の配置	職種や能力等で席順を決めるのか。座席は最善の配置か。
打ち合わせ会	事前準備	資料作成、研修の組み立て、講師の意思統一は十分か。
	研修会当日	研修会開始直前、当日終了後（夜）の確認や作業は何を行なうか。
フォローアップ	評価と総括	研修成果の確認とフォローアップは何を行なうか。

【研修資料⑱】

研修会企画シート①（全体の概要等）：記入例

研修会の概要	研修会名	〇〇〇ケアプラン作成研修会			
	開催目的	演習を中心とした適切なケアプラン作成方法とモニタリング及び評価方法の習得			
	開催日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇） 9：30～17：00			
	開催場所	〇〇〇会議室			
	講師	〇〇〇〇〇			
	参加者	人数	50	所属・職種等	居宅介護支援事業所・介護保険施設の介護支援専門員

研修会で使用する配布資料	資料のタイトル	資料の内容・備考	事前課題	当日配布	頁数	部数	担当者
		レジュメと講師のプロフィール	パワーポイントによる資料		○	9	50
	【資料 1】介護保険制度創設の経緯（社会保障制度等の変化と社会背景）	研修会後の参考資料		○	7	50	〇〇
	【資料 2】社会資源としての介護保険制度	社会資源を表わす図表		○	1	50	〇〇
	【資料 3】サービスコードを特定する上での確認事項	サービスコード体系		○	1	50	〇〇
	【資料 4】サービス種類内の単位数の範囲（最小と最大）	単位数の最大と最小の差		○	1	50	〇〇
	【資料 5】条件の違いによる単位数の範囲	要介護 2 を基準		○	2	50	〇〇
	【資料 6】要介護度別の居宅サービス計画（週間）の例	マネジメントの具体例		○	7	50	〇〇
	【資料 7】利用者からのクレームの例	クレームの具体例		○	1	50	〇〇
	【資料 8】介護サービス計画書の記載内容の構造	具体的な 5W2H など		○	1	50	〇〇
	【資料 9】介護サービス計画書の記載内容の具体例	ケアごとの具体例		○	1	50	〇〇
	【資料 10】介護サービス計画書記入文例	ニーズからケアまでの文例		○	19	50	〇〇
	【資料 11】再検討や具体的な説明が必要と思われる記載例	抽象的な代表的な文例		○	1	50	〇〇
	【資料 12】介護サービス計画の検討項目一覧表	分類した検討項目		○	3	50	〇〇
	【資料 13】モニタリングと評価の重要ポイント	評価等の 3 つのポイント		○	1	50	〇〇
	【資料 14】事前提出資料の集計結果	認定調査と計画書の集計		○	8	50	〇〇
	【資料 15】中間評価項目と必要な介護内容の推定シート	認定調査によるケアの推定		○	1	50	〇〇
	【資料 16】居宅サービス計画書の評価シート（記入見本）	計画書の整合性チェック		○	1	50	〇〇
	介護サービス計画研修会についてのアンケート	研修の効果測定用調査		○	4	50	〇〇
	【演習シート】居宅サービス計画書の評価シート	計画書の整合性の演習		○	1	50	〇〇
	【演習シート】グループ討議シート	グループ討議記録提出用		○	1	50	〇〇
	※認定調査票と主治医意見書	※事前提出資料	○	○		1	〇〇